

農業シンポジウム

TPPと日本の農業

環太平洋戦略的経済連携協定

2/6 日

午後1時～4時
池田町福社会館（1丁目）

- シンポジウム 【テーマ】 — TPPで日本の農業・食料はどうなるのか —
【意見発表】 JA大北、池田町、農業者、日本共産党、消費者など
- 参加者による質疑と討論

菅首相は年頭の記者会見で、2011年を「平成の開国元年にする」、「自由貿易と農林漁業の活性化を両立させる政策を今年前半までに打ち出す」と述べ、TPPへの参加を前提にアメリカなどとの協議を開始することを明らかにしました。

これに対して、「日本の食料主権を放棄する」「日本の農業を壊滅させ、国民の食と安全を奪う」としてJAをはじめ、全国の農業者・酪農家、消

費者などから大きな反対の声があがっています。

このTPP問題は、農業を基幹産業とし、美しい自然環境と田園風景を町の財産とする池田町にとっても看過できない重要問題です。

シンポジウムでは、このTPPで日本の農業や他の産業、環境、国民の食と安全がどうなるのか、私たちはこれをどう考え、何をなすべきなのか、各団体の代表の問題提起をもとに考えます。

どなたでも自由に参加できます。お気軽にお出かけください。参加費はありません。

農業シンポジウム実行委員会

事務局 太田 勲 (0261) 62-5727 村端 浩 (0261) 62-8440
牛越 邦夫 (0261) 62-8867 宮田 兼任 (0261) 62-8630

